

2025

しがの生協

No.203

TOPICS
トピックス



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

地域共生と協同組合の 役割や期待について ～私たちの協同組合ができることを考えよう～

日 時: 2025年7月22日(火)

場 所: 草津市立市民総合交流センター
「キラリエ草津」

主 催: IYC記念滋賀県協同組合協議会



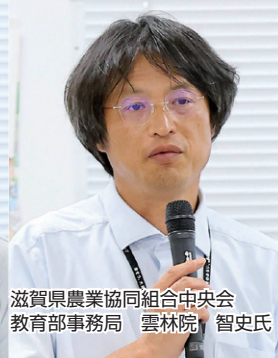
IYC記念滋賀県協同組合協議会
会長 小池 恒男氏



滋賀県立大学地域共生センター
特任講師 上田 洋平氏



近畿ろうきん地域共生推進室
室長 東中 健悟氏



滋賀県農業協同組合中央会
教育部事務局 雲林院 智史氏



コープしが西地区運営事務局
事務局長 西口 とも子氏



「地域共生と協同組合の役割と期待」をテーマに、滋賀県立大地域共生センターの上田洋平氏による基調講演。近畿ろうきん東中健悟氏、JA滋賀中央会雲林院智史氏、コープしが西口とも子氏による地域共生の取り組みについてパネルディスカッションを行いました。

会場46名、オンライン28名、合計74名が参加しました。

まぜて・ちらして・つなぐ

～多世代・多分野共創による“ビジネスモデル”を地域から～

講師 上田 洋平氏（滋賀県立大学地域共生センター特任講師）

7月22日(火)キラリエ草津において開催しました。講師の滋賀県立大学 上田洋平先生は「まぜて・ちらして・つなぐ」という通称「ビジネスモデル」を提唱されています。これは地域文化や風土に根ざした暮らしの中から生まれた独自の

社会的価値観を反映したもので、「ビジネス」ではなく「ビジネス」と表現されています。これは従来の経済合理性を中心にしたモデルとは異なり、「無事に生きる」ことを軸にした地域共生型の持続可能な暮らし方とお話されました。

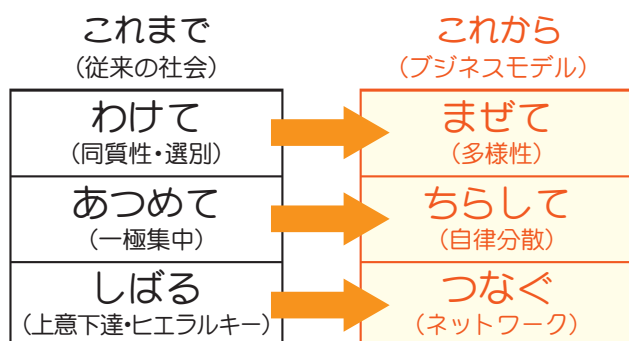


滋賀県立大学地域共生センター
特任講師

上田 洋平氏

「まぜて、ちらして、つなぐ」とは

これまでの組織は、「わけて、あつめて、しばる」というフォーメーションで、今の繁栄や豊かさが確保されてきました。しかし、混迷を深めている今の日本で、これから「まぜて、ちらして、つなぐ」というフォーメーションも重要になってきているのではないかとのことでした。



「ビジネスモデル」

地域に暮らす多様な人々や文化が混ざり合い、互いにゆるやかにつながることで、持続可能で創造的なコミュニティを築く「ビジネスモデル」を目指しています。経済的な成功や効率性だけでなく、地域の人々が安心して暮らせる環境をつくるのが目的です。上田先生は滋賀県を拠点に、風土に根ざした文化や暮らしの研究を通じて、学生とともにこのモデルを実践的に展開されています。

例えば「政所茶レン茶ー(まんどころチャレンジャー)」は2012年から続いています。東近江市で、耕作放棄の危機に直面したまぼろしの銘茶「政所茶」の生産・販売・PRに取り組み、2014年に移住した学生の熱意に、地元の人たちが「若者たちを支えられず、何のための地域活性化なのか」ということで、生産振興会が発足されました。

また、琵琶湖上の有人島沖島では2016年に「座・沖島」を発足。「まなぶ・まじわる・ささえる」を方針に住民とともに沖島活性化を目指し、沖島から通学する学生や、小学校のサポート教員として活躍する学生もでてきています。

地域再生に向けて、地域固有の資源や文化を活かした持続可能なビジネスモデルが不可欠。ビジネスモデルは「自然のめぐみ」「国土のめぐみ」を前提とし、地域住民が「ここで生きていける」ことを実感できるような仕組みづくりです。地域の活性化だけでなく、個人の生き方や価値観にも深く影響を与えるとのことでした。ビジネスモデルは、地域社会や文化、生態系との共生を目指すものですが、身近な地域や職場でも応用できるのではないかと考えられました。

滋賀県における協同組合の社会的役割の強化と地域の活性化、生活文化の向上を目指すIYC協議会としても、地域の文化や経済に根ざす「ビジネスモデル」の考え方と「つながり」の回復・強化が、私たち協同組合の未来において重要であると認識させられました。



政所茶レン茶ー(まんどころチャレンジャー)



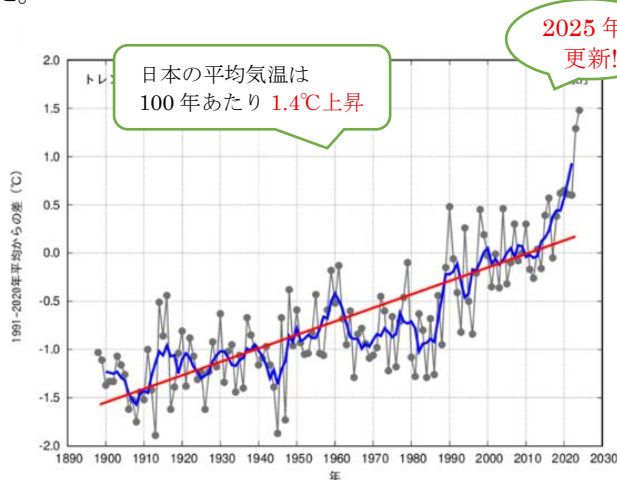
座・沖島で活動する学生さん

アースデー・IYC2025 記念連続講座 みんなで考えよう

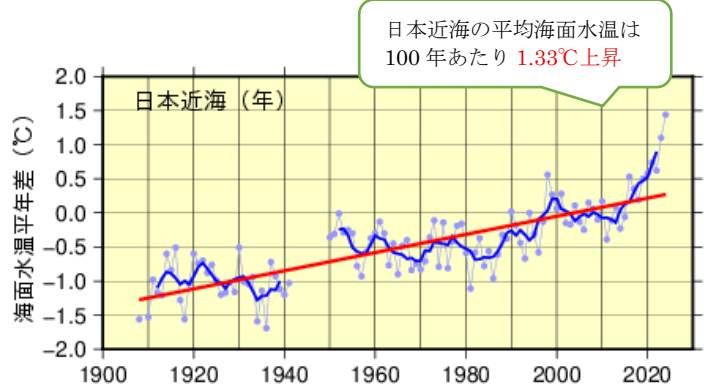
『温暖化で迫る食料危機』

近年、地球温暖化による異常気象が増加し、自然環境だけではなく食料生産など、私たちの生活にも大きな影響を与えています。研究者・行政・生産者それぞれの立場から『温暖化で迫る食料危機』をテーマに3回に分けて学習会を開催しました。

化石燃料の使用や森林伐採といった人の活動によって温室効果ガスが増えすぎた結果、地球の気温や海水温が上昇しています。1898年統計開始以降、日本の気温や日本近海の海水温は2024年が最も高くなっているとのことでした。



出典：気象庁 HP 日本の年平均気温の推移



出典：気象庁 HP 海面水温の長期変化傾向（日本近海）

地球温暖化は、農業や漁業に深刻な影響を与えている。水稻では米粒が白濁する白未熟粒の発生や、果実では着色不良など高温による被害の発生。また高温の問題だけではなく、ある場所では記録的豪雨が生じたり、ある場所はまったく雨が降らなかったりと、生産に大きな悪影響が出ているなどのお話をいただきました。

デンプンの蓄積が不十分のため、白く濁って見える



白未熟粒(左)と正常粒(右)の断面

高温による着色不良・着色遅延等



着色良好果(左)と着色不良果(右)

出典：地球温暖化影響調査レポート（農林水産省）



サンゴの白化現象

魚介類はそれぞれ適した水温域に生息している。海水温の上昇によってサンゴの白化や、魚の生息域・回遊ルートが大きく変わっているとのこと。ブリ・サワラなどの温暖な海を好む魚は北方に移動し、サンマ・サケ・スルメイカなど冷水を好む魚は日本近海で獲れなくなっている。家畜では夏バテや熱中症が原因で生産量の減少が発生しているとのこと。

地球温暖化はすぐに解決できる問題ではなく、原因となる温室効果ガスを削減する「緩和」と、温暖化によって生じる影響に備える「適応」とがあります。適応は高温に強い農産物の開発や、不漁になった魚種の代わりに、新たに獲れだした魚種を活用することで、それぞれの分野で適応策を進める必要があります。「緩和」と「適応」の両輪の取り組みが大切と締めくくられました。

地球温暖化はますます深刻化し、私たちの生活に大きな影響をもたらします。将来への影響を最小限に抑えるために、できることから取り組み、それを続けることが、私たちの未来につながっていきます。滋賀県生協連として、これからも地球温暖化の学びの場をつくっていきます。

核兵器禁止条約への批准を求める 街頭署名を行いました

8月6日・9日 広島、長崎への原爆投下日に合わせ、石山駅にて、核兵器禁止条約の批准を求める署名チラシとともに署名活動を行いました。夕方時間帯で帰宅が急がれる中、チラシ200枚の受け取りと、署名24筆をいただきました。

署名は会員生協で集めていただいた分も合わせると463筆になりました。滋賀県生協連として、この取り組みを通して、被ばくや戦争の実相を次世代に語り継ぐとともに、平和を願うすべての力を結集させ、核兵器廃絶を強く訴え、恒久平和の実現をめざしていきます。



三井寺原爆犠牲者慰霊法要平和祈願に参加しました

8月6日 午前8時15分 広島に原爆が投下された時刻に合わせ、三井寺（園城寺）において犠牲者慰霊法要が執り行われました。

滋賀県生協連では会員生協を通じて平和祈願の短冊記入を呼びかけ、平和への祈りや核兵器廃絶への願いを託した157枚の短冊が集まりました。短冊は風船につけて恒久平和への想いや願いを託し大空に放たれました。



石川県輪島市 金蔵万燈会ボランティア活動に参加しました

8月15日（金）輪島市町野町金蔵地区の『金蔵万燈会』に参加しました。能登半島地震から1年半、豪雨災害から1年が過ぎ、今も道路の復旧や倒壊家屋の撤去作業等が続いています。金蔵万燈会は金蔵地区にある5つのお寺や田んぼや畦道など、集落全体にろうソクを灯して故人を偲び先祖を供養する祭礼。過疎化や高齢化により、2016年に中止されていましたが、能登半島地震の復興を願って2024年にボランティアの手を借りて正願寺で復活されました。

正願寺境内にカップ瓶約4000個を並べ、ろうソクを灯して祭礼が行われました。ろうソクの柔らかい火が灯された瞬間は地域の人々の復興の苦労が報われる感動がありました。このボランティア活動を通じて、地域の皆さんと連帯感を深めることができました。一日でも早い復興につながることを願い、今後もこの祭礼が続き、多くの人々に感動と希望を与え続けることを願っています。



生活協同組合コープしが

「いのち*たいせつ」をテーマ にした組合員活動

被爆・戦後80年。コープしがでは、「いのち*たいせつ」に重点を置いて組合員活動を行っています。5月は「県内戦争遺跡めぐり」を企画しました。布引掩体壕・冲原神社(東近江市)と岩脇蒸気機関車避難壕(米原市)などの戦争遺跡にふれ、滋賀県平和祈念館では戦時中のくらしを体感しました。7月には県内4箇所です「食から感じとる当時のくらし」「絵本を通して平和を考える」などのテーマを設けて、組合員がつどい、戦争や平和への想いを話し、千羽鶴を作る「いのち*たいせつカフェ」を行いました。

8月の「ヒロシマ平和スタディツアー」では、日本生協連主催のピースアクション in ヒロシマに参加し、平和祈念式典への参列、さらに胎内で被爆された方の被爆体験のお話をお聞きました。平和記念公園周辺では「碑めぐり」を行い、原爆の子の像に折り鶴を捧げました。この折り鶴は、総代やいのち*たいせつカフェ参加者などコープしがの組合員が平和への想いを込めて折ったものです。その他に子どもた



滋賀県平和祈念館での見学



「原爆の子」像に折り鶴を捧げる



絵本を通して
平和の語らい

ちが記者になって戦時中の体験を聞き、聞いたことを記事にする「子ども平和新聞プロジェクト」も行いました。

これからも戦争のない社会の実現のために戦争の歴史や体験から学び、一人ひとりが「いのち*たいせつ」を考える取り組みをすすめていきます。

グリーンコープしがまる生活協同組合

通常総会と特別講演

6月16日(月) 第72期通常総会を開催し、各議案が賛成多数で承認されました。2025年度活動方針として「楽しく活動し、仲間を増やす」を掲げ、組合員に楽しんでもらえる学習会や企画に取り組みます。

総会后、特別講演として俳生舎の西村氏より『琵琶湖の環境活動の歴史』を学びました。滋賀県では1970年代琵琶湖の水質汚染が深刻化し、合成洗剤問題に取り組みました。1977年の赤潮を契機に、全国初のリンを含む合成洗剤の使用・販売等を禁止する条例(通称「琵琶湖条例」)を制定し、工場排水



彩生舎 西村氏による特別講演

も規制強化されました。琵琶湖を守る活動(石けん運動)は日本の環境運動に大きな足跡を残しました。改めて今後の環境問題を考える意義深い学びになりました。

モッツアレラチーズ作り体験と 骨密度測定

8月22日(金) グリーンコープびん牛乳を使ったモッツアレラチーズ作り体験会を組合員14名と子供13名で開催しました。意外に簡単に作れるモッツアレラチーズは、大人も子供も楽しんで作る事ができました。出来上がったチーズの美味しさに、改めてびん牛乳の良さを実感しました。普段、測定機会のない骨密度も測定し、意外な結果も出て健康への関心が高まりました。



モッツアレラチーズ作り

滋賀県連の 報告

近畿地区生協行政合同会議

8月20日 近畿地区生協と行政窓口との合同会議を33名参加のもとに開催しました。厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 日野室長の挨拶、日本生協連の活動報告の後、特別講演として長野県高齢者生協 田中夏子副理事長に「つながる力で

安心して暮らし続けられる地域社会づくりをめざして」と題し、経済活動の枠を超えて、人と人とのつながり、地域との関係性、ともに生きる力を育む協同組合の実践について話をいただきました。今後の生協連の活動に活かしていきます。



聞かせてください、戦時中のお話

戦後70年を契機に、戦争体験の聞き取りを始め、これまでたくさんの方よりお話をお伺いしました。

今年は戦後80年、会員生協を通じて語り手さんの募集を行い、ご連絡のあった方に聞き取りを行っています。ご家族が広島にお住ま

いだった方、戦時中の生活をお話いただいた方など、当時のお話を詳しくお話をいただいています。

体験された方が少なくなる今しかないお話を聞き、次世代へつなげる活動に取り組んでいきます。



滋賀県生協連からの お知らせ

ノーベル平和賞授賞式同行、NPT(核不拡散条約)関連の国際会議などに参加し、被爆者の声や日本の市民の願いを世界に届けている浅野英男氏に、このたびご講演をいただきます。

被ばく・戦後80年企画

講演 **「核兵器をなくすために活動する想い」**

講師 **浅野 英男 氏**(核兵器をなくす日本キャンペーンコーディネーター)

若い世代からの
メッセージ!

日時 **12月8日(月)15:00 ~ 17:00**

場所 **滋賀県立大学講義室 A3棟 105号室／
Zoomオンライン**

参加費 **無料** どなたでも参加できます。

参加申し込み二次元コード

<https://forms.gle/2oek8o3u87SYJ4ZW8>

申し込み締め切り **12月1日**



浅野 英男氏
1996年生まれ。創価大学国際教養学部、神戸大学院国際協力研究科博士前期課程を卒業後、フルブライト奨学生として米国ミドルベリー国際大学院モントレイ校に進学・修士取得。核兵器廃絶日本NGO連絡会事務局として活動。

お申し込み・お問い合わせ: 滋賀県生協連
TEL:077-518-0072まで

発行 **滋賀県生活協同組合連合会**

〒520-2351

滋賀県野洲市富波甲972番地

生活協同組合コープしが内

TEL:077-518-0072 FAX:077-518-0078

Mail: signa-seikyoren@cooperative.jp

滋賀県生協連
HP

<http://shiga-seikyoren.org/>



滋賀県生協連
公式X(旧ツイッター)

<https://x.com/cis47675>

